

23年度 医学部定員増 増員される入試方式はコレだ！

国公立大は前期日程、一部で推薦、私立大は一般入試が多数派！

旺文社 教育情報センター 23年1月

平成23年度で4年連続となる医学部医学科(以下、医学部)の入学定員(以下、定員)の増加につき、22年12月に国公立26大学から計77人の申請が出され、同月末にすべて認可された。これで医学部を設置している79大学の定員の合計は、8,923人の過去最多となった。

各大学の具体的な増員内容は、すでに予告を行っていた大学はあるものの、12月末の認可以降、ようやく明らかになった。ここでは「どの入試方式で何人増員なのか」を一覧にまとめて紹介する。

すでに入試直前期となり、出願校が固まっている受験生も多いだろうが、大きなチャンスとなる受験生もいるはずだ。冷静に判断したうえで、医学部合格をつかんでほしい。



次ページに今回の定員増を行う大学について、入試方式別に募集人員をまとめた。認可前に各大学から公表された募集要項には、当然増員数は含まれていない。そこで「募集要項定員→増員後定員」で比較ができるようにした。

国公立大では前期日程での増員が多数派。信州大・神戸大・福島県立医科大では、センター試験を課す推薦で増員する。私立大では一般入試での増員がほとんどだ。

また、参考として22年度の数値も掲載した。22年度の実際の入試は「22年度 増員後定員」で行われており、それとの比較も必要だからだ。多くの大学はそのまま「23年度 募集要項定員」にスライドさせているが、各入試方式に配分し直している大学もあるため、注意してほしい。

〈東京医科歯科大の例〉

	22年度			23年度		
	募集要項定員	増員後定員		募集要項定員	増員後定員	
前期	75人	80人	計95人を再配分	76人	81人	23年度内で比較すると前期で5人増(76→81人)だが、22・23年度の「増員後定員」同士で比較すると、前期で1人増(80→81人)、4人の推薦枠が新設されたことがわかる。
後期	10人	15人		15人	15人	
推薦				4人(新規)	4人	

なお、今回の定員増は、文部科学省により(A)地域の医師確保、(B)研究医養成、(C)歯学部定員振替、の3つの枠が用意され、各大学はそれぞれの目的に応じて申請、認可を受けている。(A)は入試の段階で地域枠を設定する大学と、入学してから希望者を募って選考・選抜する大学がある。(B)(C)は入試に特別な選抜枠が用意されるわけではなく、いずれかの入試方式にその分の募集人員が増加される。

●23年度 医学部 大学別・入試方式別 増員状況

	大学	入試方式	22年度		23年度		増員内訳(募集要項との比較) (A=地域の医師確保/B=研究医養成/C=学学部定員振替)
			募集要項 定員	増員後 定員	募集要項 定員	増員後 定員	
国立	東北大	前期	95	104	104	105	Aで1人増(宮城県)※1
		AOⅢ	15	15	15	15	
	秋田大	前期	45	52	52	55	Aで3人増(秋田県)※1
		後期	25	25	25	25	
		推薦Ⅱ	40	40	40	40	
	筑波大	前期	58	60	58	61	Aで2人増(茨城県)※1、Bで1人増
		後期	5	5	5	5	
		推薦	40	40	42	42	
	群馬大※2	前期	40	47	47	53	Aで6人増(群馬県地域医療枠7→13人以内)
		後期	30	30	30	30	
		推薦	25	25	25	25	
	千葉大	前期	90	94	94	95	Aで5人増(千葉県)※1
		後期	15	16	16	20	
	東京医科歯科大	前期	75	80	76	81	Cで5人増
		後期	10	15	15	15	
		推薦	-	-	4	4	
	信州大	前期	55	55	55	55	
		後期	43	45	45	45	
		推薦	12	13	13	15	Aで2人増(長野県内枠13→15人)
	滋賀医科大	前期	73	78	78	80	Bで2人増
		推薦	20	20	20	20	
	神戸大	前期	75	75	75	75	
		AO	25	25	25	25	
		推薦	-	3	3	5	Aで2人増(兵庫県地域特別枠3→5人)
	鳥取大	前期	40	53	53	57	Aで4人増(鳥取県地域枠8→10人、島根県地域枠2→4人)
		後期	25	25	25	25	
		推薦Ⅱ	20	20	20	20	
島根大	前期	55	60	60	62	Aで2人増(島根県県内定着枠5→7人)	
	推薦	40	40	40	40		
岡山大	前期	90	97	97	100	Cで3人増	
	後期	15	15	15	15		
山口大	前期	50	59	51	54	Aで2人増(山口県地域医療再生枠2人新設※4)、Bで1人増	
	後期	15	15	15	15		
	推薦	30	30	38	38		
徳島大	前期	70	70	70	72	Cで2人増	
	推薦Ⅱ	35	42	42	42		
高知大	前期	55	62	62	65	Aで3人増(高知県地域枠7→10人)	
	AO	30	30	30	30		
	推薦Ⅱ	15	15	15	15		
九州大	前期	90	95	95	96	Bで1人増	
	後期	15	15	15	15		
長崎大	前期	70	85	76	77	Aで1人増(長崎県)※3	
	AO	10	10	10	10		
	推薦Ⅱ	20	20	29	29		
鹿児島大	前期	65	65	65	67	Cで2人増	
	後期	23	23	23	23		
	推薦Ⅱ	7	17	17	17		
公立	福島県立医科大	前期	47	47	47	47	
		後期	23	23	23	23	
		推薦	30以内	35以内	35以内	40以内	Aで5人増(福島県県内特別枠7→B枠【県内推薦】12人程度)
私立	埼玉医科大	一般前期	約60	約63	約63	約65	Aで5人増(埼玉県地域枠5→10人)※1
		一般後期	約40	約42	約42	約45	
		推薦	約10	約10	約10	約10	
	杏林大	一般	79	83	83	89	Aで6人増(東京都地域枠3→8人、茨城県地域枠1→2人)
		センター	25	27	27	27	
	順天堂大	一般	80	82	52	52(注)	
		東京都地域枠	5	10	10	10	Bで1人増
		新潟県地域枠	-	2	2	2	(注)左記の方式の中から入試結果により1人増
		一般・センター併用	-	-	35	35(注)	
	センター	25前後	25前後	20	20(注)		
	帝京大	一般	100	102	102	103	Aで1人増(千葉県)※1
		センター	10	10	10	10	
	東京医科大	一般	95	97	75	77	Aで2人増(茨城県地域枠2人新設※5)
		センター	-	-	20	20	
		推薦	15以内	15以内	15以内	15以内	
茨城県地域枠推薦	3以内	3以内	5以内	5以内			
東京慈恵会医科大	一般	105	(105)※6	105	110	Aで5人増(東京都地域枠5人新設)	
日本医科大	一般	110	112	112	114	Aで2人増(千葉県)※1	

※1.入試に特別選抜枠は設けず、入学後に選考・選抜。カッコ内は連携する都道府県。

※2.群馬大は予定(1月7日現在)。

※3.長崎大は長崎県の地域枠を推薦Ⅱに設定。

※4.5.山口大の「前期(山口県地域医療再生枠)」と東京医科大の「一般(茨城県地域枠)」は、22年度にも設けられていたが(それぞれ7人、2人)、23年度に推薦へ移行、23年度の定員増で再度新設。

※5.東京医科大の「一般(茨城県地域枠)」は、23年度は推薦で欠員が生じたため3人で募集する。

※6.東京慈恵会医科大は、22年度は定員増を行っていない。